

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	11100	総務管理費		担当課	市民保健部 医療課		内線	2801
予算	会計	3	国民健康保険事業特別会計(直営診療施設設定)	政策	2	「やさしさ」のあるまちをめざして		
	款	1	総務費	分野	5	健康・保健・医療		
	項	1	総務管理費	基本施策	2	いつでも安心して医療が受けられる環境を整備する		
	目	1	一般管理費	施策	1	地域医療体制の充実		
実施計画事業	直営診療所運営事業、診療所整備事業							
市長の約束								

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	対象施設診療圏域住民(利用患者)	受益者数	18,260人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・地域住民がいつでも安心して医療が受けられる環境の整備とへき地医療の確保を図る		
概要	事業の実施手法(手段)	・医療サービス、介護サービスの提供 ・予防接種、健診事業の実施 ・施設管理、施設整備		
	前回の評価からの改善・改革のポイント	清見診療所改築工事の実施 ・耐震化のコスト面や施設の老朽化等を考慮し、現在地に建て替える方向で今年度設計を行う		

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画	
	① 延べ診療日数(7カ所)			日	目標値	1,650	1,650	1,650	1,650
			実績値	1,637	1,646	1,650	-		
算出根拠等	診療実日数/年×7カ所			達成率(%)	99	100	100	-	
成果指標	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画	
				目標値					
① 延べ利用者数(医科・歯科)			人	目標値	52,000	52,000	52,000	52,000	
				実績値	52,328	51,397	52,000	-	
算出根拠等	延べ患者数/年×15カ所			達成率(%)	101	99	100	-	
コスト面	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画	
				目標値					
② 耐震改修実施数(改築含む)			棟	目標値	2	0	0	1	
				実績値	2	0	0	-	
算出根拠等				達成率(%)	100			-	
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)				H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額	
	歳出(千円)				(A)	140,823	96,539	91,183	195,000
	受益者負担(使用料・負担金等)					67,708	61,824	65,735	
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)					5,002	4,582	4,632	
一般財源					68,113	30,133	20,816		
コスト面	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画	
	① 受益者1件当たり(円)	(A/B)		7,551	5,239	4,994	10,833		
		受益者	4月1日現在	(B)	18,650	18,427	18,260	18,000	
	② 医業収支比率			99	94	100	100		
算出根拠等	医業収益(診療収入・手数料等)/医業費用(人件費・運営費・医業費)			※調整交付金算定資料					

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	A	・現在の直営診療所の体制を維持していくことで、総合計画の「いつでも安心して医療が受けられる環境」が整えられる
	B(1)	一部結びつく		
	C(0)	結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	A	・遠隔地の医療確保に対する地域住民の要望は大きいことから必要性は非常に高い
	B(1)	ある程度のニーズがある		
	C(0)	少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	A	・市街地をとりまく周辺地域に直営診療所を設置し、市域全体の無医地区の解消につなげている
	B(1)	概ね市民全体におよぶ		
	C(0)	わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	A	・7カ所のへき地診療所及び8カ所の出張診療所を継続して運営することで、市内に無医地区のない状態を維持している ・耐震診断で改善が必要な施設について、計画に基づき対策を講じている
	B(1)	概ね達成している (75%以上)		
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	A	・地域に唯一の総合的な医療を提供するかかりつけ医として、地域住民の安心安全な暮らしの実現を図る中で「へき地診療所」は重要な役割を担っている
	B(1)	概ね有効である		
	C(0)	見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	B	・施設の老朽化や耐震化へ対応するため、今年度清見診療所の改築設計を行うなど、工事に向けた準備をすすめる
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	B	・レセプトコンピュータのオンライン化 ・後発医薬品の積極的な採用 ・高度医療機器の共同利用(高山赤十字病院)
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	B	・地域医療を確保するという事業の性格から判断して概ね適正である
	B(1)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	A	・全診療所のレセプトコンピュータのオンライン請求への完全移行などコスト削減に取り組んでいる
	B(2)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
合計		17.0 / 20.0	100点換算 → 85 / 100	

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	・老朽施設の改築など患者のニーズに応え、快適な環境で医療サービスの提供を継続していく				

総合評価(二次評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	・平成22年度事業評価において、今後の施設整備の検討にあたっては、必要性の面から施設の統廃合を含めた検討、コスト面等から補強か改築かの検討など総合的な検討が必要であるとの指摘を行っており、引き続きこうした検討を行っていく必要がある。 ・地域医療の状況を勘案しながら、医師の確保、施設の整備、業務体制の見直しを行う必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部査定額	市長査定額
歳出(千円)	91,183	223,667	132,484	180,807	180,807
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他	91,183	223,667	132,484	180,807	180,807
一般財源					

予算要求の概要	直営診療所の管理運営 診療所施設・設備の整備
要求額増減理由	清見診療所改築事業費の増 非常用自家発電設備整備に伴う増
事業実施の課題	・将来にわたっての医療従事者の確保 ・老朽化やバリアフリー化を課題とする施設の早期整備 ・民間事業者の参入が見込まれない介護サービスの地域エリアの拡大 ・へき地拠点病院等医療機関との病診連携

財務部査定の考え方	積算内容を精査 丹生川診療所民営化による減
-----------	--------------------------

市長査定の考え方	財務部査定のとおり
----------	-----------

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	21100	医療用機械器具費	担当課	市民保健部 医療課	内線	2801
予算	会計	3 国民健康保険事業特別会計(直営診療施設助定)	政策	2 「やさしさ」のあるまちをめざして		
	款	2 医療費	分野	5 健康・保健・医療		
	項	1 医療費	基本施策	2 いつでも安心して医療が受けられる環境を整備する		
	目	1 医療用機械器具費	施策	1 地域医療体制の充実		
実施計画事業	診療所医療機器整備事業					
市長の約束						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	対象施設診療圏域住民(利用患者)	受益者数	18,260 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・地域住民がいつでも安心して医療が受けられる環境の整備とへき地医療の確保を図る		
概要	事業の実施手法(手段)	・医療用機器の維持管理 ・医療用機器の更新		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
① 延べ診療日数(7カ所)	算出根拠等	診療実日数/年×7カ所	目標値	1,650	1,650	1,650	1,650
			実績値	1,637	1,646	1,650	-
	達成率(%)		99	100	100	-	
②	算出根拠等	延べ患者数/年×15カ所	目標値				
			実績値				-
	達成率(%)					-	
① 延べ利用患者数(医科・歯科)	算出根拠等	延べ患者数/年×15カ所	目標値	52,000	52,000	52,000	52,000
			実績値	52,328	51,397	52,000	-
	達成率(%)		101	99	100	-	
② 医療機器更新台数	算出根拠等	購入実績(1台当たり50万円以上)	目標値	3	2	2	2
			実績値	3	2	2	-
	達成率(%)		100	100	100	-	

コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)	H21	H22	H23	H24	
		決算額	決算額	予算額	実施計画額	
	歳出(千円)	(A) 18,455	17,642	28,160	28,000	
財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)	6,049	12,289	19,454		
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)	2,776	2,041	3,544		
	一般財源	9,630	3,312	5,162		
コスト指標	算出根拠等	指標名	H21	H22	H23見込	H24計画
		① 受益者1件当たり(円)	(A/B) 990	957	1,542	1,556
		受益者	4月1日現在 (B) 18,650	18,427	18,260	18,000
		② 医療収支比率	99	94	100	100
	算出根拠等	医療収益(診療収入・手数料等)/医療費用(人件費・運営費・医療費) ※調整交付金算定資料				

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	A	・現在の直営診療所の体制を維持していくことで、総合計画の「いつでも安心して医療が受けられる環境」が整えられる
	B(1)	一部結びつく		
	C(0)	結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	A	・遠隔地の医療確保に対する地域住民の要望は大きいことから必要性は非常に高い
	B(1)	ある程度のニーズがある		
	C(0)	少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	A	・市街地をとりまく周辺地域に直営診療所を設置し、市域全体の無医地区の解消につなげている
	B(1)	概ね市民全体におよぶ		
	C(0)	わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	A	・7カ所のへき地診療所及び8カ所の出張診療所を継続して運営することで、市内に無医地区のない状態を維持している ・計画的な医療機器の更新により適正な医療サービスの提供が維持できる
	B(1)	概ね達成している (75%以上)		
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	A	・地域に唯一の総合的な医療を提供するかかりつけ医として、地域住民の安心安全な暮らしの実現を図る中で「へき地診療所」は重要な役割を担っている
	B(1)	概ね有効である		
	C(0)	見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	B	・計画的な医療機器の更新をすすめる
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	B	・高度医療機器の保守点検を実施し、安全管理と高額修理の防止を図っている
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	B	・地域医療を確保するという事業の性格から判断して概ね適正である
	B(1)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	A	・一次医療機関である診療所において、合理的かつ効果的な診断が行える医療機器を選定し導入しており適正である
	B(2)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
合計	17.0 / 20.0		100点換算 → 85 / 100	

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	○				
・計画的な医療機器の更新や保守点検の実施により、安心・安全な医療サービスの提供の充実に努めていく					
総合評価(二次評価)	維持・改善				
・地域医療の状況を勘案しながら、医療機器整備計画に基づき実施していく必要がある。					
議会からの提言等					

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部査定額	市長査定額
歳出(千円)	28,160	29,587	1,427	20,000	20,000
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他	28,160	29,587	1,427	20,000	20,000
一般財源					
予算要求の概要	医療用機器の維持管理 医療用機器の整備				
要求額増減理由	往診用検査機器の拡充整備に伴う増				
事業実施の課題	医療機器の老朽化への早期対応				
財務部査定の考え方	積算内容を精査 丹生川診療所民営化による減				
市長査定の考え方	財務部査定のとおり				

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	21200	医療用消耗機材費	担当課	市民保健部 医療課	内線	2801
予算	会計	3 国民健康保険事業特別会計(直営診療施設助定)	政策	2 「やさしさ」のあるまちをめざして		
	款	2 医業費	分野	5 健康・保健・医療		
	項	1 医業費	基本施策	2 いつでも安心して医療が受けられる環境を整備する		
	目	2 医療用消耗機材費	施策	1 地域医療体制の充実		
実施計画事業	直営診療所運営事業					
市長の約束						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	対象施設診療圏域住民(利用患者)	受益者数	18,260 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・地域住民がいつでも安心して医療が受けられる環境の整備とへき地医療の確保を図る		
概要	事業の実施手法(手段)	・医療用消耗品、被服の購入		
	前回の評価からの改善・改革のポイント			

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	① 延べ診療日数(7カ所)	日	目標・実績			
			H21	H22	H23見込	H24計画
算出根拠等	診療実日数/年×7カ所		1,650	1,650	1,650	1,650
			1,637	1,646	1,650	-
算出根拠等	達成率(%)		99	100	100	-

成果指標	② 延べ利用者数(内科・歯科)	人	目標・実績			
			H21	H22	H23見込	H24計画
算出根拠等	延べ患者数/年×15カ所		52,000	52,000	52,000	52,000
			52,328	51,397	52,000	-
算出根拠等	達成率(%)		101	99	100	-

コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)	(A)	H21	H22	H23	H24
			決算額	決算額	予算額	実施計画額
	歳出(千円)	(A)	9,908	9,234	10,000	10,000
財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)		9,372	8,744	9,160	
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)		536	490	440	
	一般財源				400	

コスト指標	① 受益者1件当たり(円)	(A/B)	H21	H22	H23見込	H24計画	
	受益者	4月1日現在	(B)	18,650	18,427	18,260	18,000
	② 医業収支比率		99	94	100	100	
算出根拠等	医業収益(診療収入・手数料等)/医業費用(人件費・運営費・医業費) ※調整交付金算定資料						

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A (2) 結びつく	A	・現在の直営診療所の体制を維持していくことで、総合計画の「いつでも安心して医療が受けられる環境」が整えられる
	B (1) 一部結びつく		
	C (0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A (2) 非常に多い、急増している	A	・遠隔地の医療確保に対する地域住民の要望は大きいことから必要性は非常に高い
	B (1) ある程度のニーズがある		
	C (0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A (2) 市民全体におよぶ	A	・市街地をとりまく周辺地域に直営診療所を設置し、市域全体の無医地区の解消につなげている
	B (1) 概ね市民全体におよぶ		
	C (0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A (2) 十分に達成している (100%以上)	A	・7カ所のへき地診療所及び8カ所の出張診療所を継続して運営することで、市内に無医地区のない状態を維持している
	B (1) 概ね達成している (75%以上)		
	C (0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A (2) 有効である	A	・地域に唯一の総合的な医療を提供するかかりつけ医として、地域住民の安心安全な暮らしの実現を図る中で「へき地診療所」は重要な役割を担っている
	B (1) 概ね有効である		
	C (0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A (2) 課題はない・解消されている	B	・在庫管理を徹底する
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A (2) 課題はない・解消されている	B	・共同一括購入や適正な在庫管理などを行っている
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A (2) 適正である	B	・地域医療を確保するという事業の性格から判断して概ね適正である
	B (1) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A (4) 適正である	A	・診療、介護、予防接種など多岐にわたるサービスの提供に見合った投入コストであり適正である ・在庫管理を徹底するなど期限切れによる廃棄処分を減らす努力を行っている
	B (2) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
合計	17.0 / 20.0	100点換算 → 85 / 100	

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	・患者の需要に応じた医薬品や医療用消耗品の仕入を適正に行うなど安心・安全な医療サービスの提供の充実に努めていく				

総合評価(二次評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	(担当課評価に同じ)				

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部査定額	市長査定額
歳出(千円)	10,000	10,875	875	8,000	8,000
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他	10,000	10,875	875	8,000	8,000
一般財源					

予算要求の概要	医療用消耗品の購入
要求額増減理由	
事業実施の課題	高齢患者の受診件数の増加等による医業費増嵩

財務部査定の考え方	積算内容を精査 丹生川診療所民営化による減
市長査定の考え方	財務部査定のとおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	21300	医薬品衛生材料費	担当課	市民保健部 医療課	内線
	2801				
予算	会計	3 国民健康保険事業特別会計(直営診療施設助定)	政策	2 「やさしさ」のあるまちをめざして	
	款	2 医薬費	分野	5 健康・保健・医療	
	項	1 医薬費	基本施策	2 いつでも安心して医療が受けられる環境を整備する	
	目	3 医薬品衛生材料費	施策	1 地域医療体制の充実	
実施計画事業	直営診療所運営事業				
市長の約束					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	対象施設診療圏域住民(利用患者)	受益者数	18,260 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・地域住民がいつでも安心して医療が受けられる環境の整備とへき地医療の確保を図る		
概要	事業の実施手法(手段)	・医薬品の購入(内用薬、外用薬、注射薬)		
	前回の評価からの改善・改革のポイント			

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
① 延べ診療日数(7カ所)	算出根拠等	診療実日数/年×7カ所	達成率(%)	99	100	100	-
			達成率(%)	99	100	100	-
②	算出根拠等	延べ患者数/年×15カ所	達成率(%)	101	99	100	-
			達成率(%)	101	99	100	-
① 延べ利用患者数(医科・歯科)	算出根拠等	延べ患者数/年×15カ所	達成率(%)	101	99	100	-
			達成率(%)	101	99	100	-
② 後発品占有(契約品目ベース)	算出根拠等	契約医薬品数/後発医薬品数	達成率(%)	87	96	93	-
			達成率(%)	87	96	93	-
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出(千円)			(A) 190,419	188,055	190,000	170,000
	受益者負担(使用料・負担金等)			181,143	179,212	181,107	
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)			9,276	8,843	8,893	
コスト指標	指標名			H21	H22	H23見込	H24計画
	① 受益者1件当たり(円)			(A/B) 10,210	10,205	10,405	9,444
	② 受益者			4月1日現在 (B) 18,650	18,427	18,260	18,000
	③ 医薬収支比率			99	94	100	100
算出根拠等			医薬収益(診療収入・手数料等)/医薬費用(人件費・運営費・医薬費) ※調整交付金算定資料				

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など	
	A(2)	B(1)			
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2) 結びつく	B(1) 一部結びつく	A	・現在の直営診療所の体制を維持していくことで、総合計画の「いつでも安心して医療が受けられる環境」が整えられる	
	B(1) 一部結びつく	C(0) 結びつかない			
	C(0) 結びつかない				
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2) 非常に多い、急増している	B(1) ある程度のニーズがある	A	・遠隔地の医療確保に対する地域住民の要望は大きいことから必要性は非常に高い	
	B(1) ある程度のニーズがある	C(0) 少ない、減少している			
	C(0) 少ない、減少している				
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2) 市民全体におよぶ	B(1) 概ね市民全体におよぶ	A	・市街地をとりまく周辺地域に直営診療所を設置し、市域全体の無医地区の解消につなげている	
	B(1) 概ね市民全体におよぶ	C(0) わずかな受益者に限定される			
	C(0) わずかな受益者に限定される				
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2) 十分に達成している (100%以上)	B(1) 概ね達成している (75%以上)	A	・7カ所のへき地診療所及び8カ所の出張診療所を継続して運営することで、市内に無医地区のない状態を維持している	
	B(1) 概ね達成している (75%以上)	C(0) あまり順調でない (75%未満)			
	C(0) あまり順調でない (75%未満)				
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2) 有効である	B(1) 概ね有効である	A	・地域に唯一の総合的な医療を提供するかかりつけ医として、地域住民の安心安全な暮らしの実現を図る中で「へき地診療所」は重要な役割を担っている	
	B(1) 概ね有効である	C(0) 見直しが必要である			
	C(0) 見直しが必要である				
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2) 課題はない・解消されている	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる	B	・直営診療所の医師で構成する薬剤部会を開催し、採用薬品の統一化や後発品の積極的採用に努めている	
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる	C(0) 対応していない			
	C(0) 対応していない				
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2) 課題はない・解消されている	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる	B	・在庫管理の徹底、共同発注及び後発品の積極的採用を行っている	
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる	C(0) 対応していない			
	C(0) 対応していない				
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2) 適正である	B(1) 概ね適正である	B	・地域医療を確保するという事業の性格から判断して概ね適正である	
	B(1) 概ね適正である	C(0) 改善が必要である			
	C(0) 改善が必要である				
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4) 適正である	B(2) 概ね適正である	A	・診療、介護、予防接種など多岐にわたるサービスの提供に見合った投入コストであり適正である ・在庫管理を徹底するなど期限切れによる廃棄処分を減らす努力を行っている	
	B(2) 概ね適正である	C(0) 改善が必要である			
	C(0) 改善が必要である				
合計		17.0 / 20.0	100点換算		85 / 100

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	・患者のニーズに応じた医薬品や医療用消耗品の仕入を適正に行うなど安心・安全な医療サービスの提供の充実に努めていく				

総合評価(二次評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	・患者のニーズも踏まえつつ、後発医薬品の利用を一層推進する必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部査定額	市長査定額
歳出(千円)	190,000	195,000	5,000	166,000	166,000
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他	190,000	195,000	5,000	166,000	166,000
一般財源					

予算要求の概要	医薬品の購入
要求額増減理由	予防ワクチン接種者の増加見込みによる増
事業実施の課題	高齢患者の受診件数の増加等による医薬費増嵩

財務部査定の考え方	積算内容を精査 丹生川診療所民営化による減
市長査定の考え方	財務部査定のとおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	21400	医療業務委託料		担当課	市民保健部 医療課		内線	2801
予算	会計	3	国民健康保険事業特別会計(直営診療施設助定)	政策	2	「やさしさ」のあるまちをめざして		
	款	2	医療費	分野	5	健康・保健・医療		
	項	1	医療費	基本施策	2	いつでも安心して医療が受けられる環境を整備する		
	目	4	医療業務委託費	施策	1	地域医療体制の充実		
実施計画事業	直営診療所運営事業							
市長の約束								

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	対象施設診療圏域住民(利用患者)	受益者数	18,260人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	・地域住民がいつでも安心して医療が受けられる環境の整備とへき地医療の確保を図る		
概要	事業の実施手法(手段)	主な医療業務の委託 ・代診医の派遣 ・血液検査 ・高度医療検査 ・歯科診療 ・介護サービス		
概要	前回の評価からの改善・改革のポイント			

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
① 延べ診療日数(7カ所)	算出根拠等	診療実日数/年×7カ所	達成率(%)	99	100	100	-
			達成率(%)	99	100	100	-
②	算出根拠等	延べ患者数/年×15カ所	達成率(%)	101	99	100	-
			達成率(%)	101	99	100	-
① 延べ利用患者数(内科・歯科)	算出根拠等	延べ患者数/年×15カ所	達成率(%)	101	99	100	-
			達成率(%)	101	99	100	-
② 代診医派遣回数	算出根拠等	派遣回数/年×3カ所	達成率(%)	105	103	104	-
			達成率(%)	105	103	104	-

コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)	H21	H22	H23	H24
		決算額	決算額	予算額	実施計画額
①	歳出(千円)	39,596	39,738	42,625	40,000
	受益者負担(使用料・負担金等)	37,465	37,669	40,506	
②	その他特定財源(国・県支出金・起債等)	2,131	2,069	2,119	
	一般財源				

コスト指標	指標名	単位	H21	H22	H23見込	H24計画
			目標値	実績値	目標値	実績値
①	受益者1件当たり(円)	(A/B)	2,123	2,157	2,334	2,222
	受益者	4月1日現在	18,650	18,427	18,260	18,000
②	医療収支比率		99	94	100	100
	算出根拠等	医療収益(診療収入・手数料等)/医療費用(人件費・運営費・医療費)	※調整交付金算定資料			

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	A	・現在の直営診療所の体制を維持していくことで、総合計画の「いつでも安心して医療が受けられる環境」が整えられる
	B(1)	一部結びつく		
	C(0)	結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	A	・遠隔地の医療確保に対する地域住民の要望は大きいことから必要性は非常に高い
	B(1)	ある程度のニーズがある		
	C(0)	少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	A	・市街地をとりまく周辺地域に直営診療所を設置し、市域全体の無医地区の解消につなげている
	B(1)	概ね市民全体におよぶ		
	C(0)	わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	A	・7カ所のへき地診療所及び8カ所の出張診療所を継続して運営することで、市内に無医地区のない状態を維持している
	B(1)	概ね達成している (75%以上)		
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	A	・地域に唯一の総合的な医療を提供するかかりつけ医として、地域住民の安心安全な暮らしの実現を図る中で「へき地診療所」は重要な役割を担っている
	B(1)	概ね有効である		
	C(0)	見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	B	・へき地医療に従事する医師の不足を補うため、引き続き県からの自治医科大学卒業医師の派遣受入や高山赤十字病院等からの代診医派遣を受けるなど地域医療体制の確保を図る
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	B	市内中核病院との連携 ・代診医派遣や患者紹介、高度医療機器の共同利用を行っている 診療所間連携 ・医師、看護師等の人的応援を行っている
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	B	・地域医療を確保するという事業の性格から判断して概ね適正である
	B(1)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	A	・診療、介護、予防接種など多岐にわたるサービスの提供に見合った投入コストであり適正である
	B(2)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
合計		17.0 / 20.0	100点換算 → 85 / 100	

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	・引き続き採算性向上のため、委託業務の改善や診療所間及び中核病院との連携を強化し効率的で機能的な診療体制の充実に努めていく				

総合評価(二次評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	(担当課評価に同じ)				

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部査定額	市長査定額
歳出(千円)	42,625	44,260	1,635	51,800	51,800
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他	42,625	44,260	1,635	51,800	51,800
一般財源					

予算要求の概要	医療業務委託等 ・代診医派遣 ・血液検査、高度医療検査(CT、MRI) ・歯科診療
要求額増減理由	検査委託料の増
事業実施の課題	診療業務や診療体制の見直しの検討

財務部査定の考え方	積算内容を精査 丹生川診療所民営化による減 高根診療所代診医派遣による増
市長査定の考え方	財務部査定のとおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	31100	地方債元金	担当課	市民保健部 医療課	内線	2801
予算	会計	3	国民健康保険事業特別会計(直営診療施設勘定)	政策	2	「やさしさ」のあるまちをめざして
	款	3	公債費	分野	5	健康・保健・医療
	項	1	公債費	基本施策	2	いつでも安心して医療が受けられる環境を整備する
	目	1	元金	施策	1	地域医療体制の充実
実施計画事業						
市長の約束						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	対象施設診療圏域住民(利用患者)	受益者数	18,260 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	・地域住民がいつでも安心して医療が受けられる環境の整備とへき地医療の確保を図る		
概要	事業の実施手法(手段)	診療施設整備に伴い起こした地方債の元金償還		
概要	前回の評価からの改善・改革のポイント			

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	①	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
					目標値	実績値		
活動指標	算出根拠等			達成率(%)				-
		指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
成果面	②			達成率(%)				-
		指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
成果指標	①			達成率(%)				-
		指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
成果指標	②			達成率(%)				-
		指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)				H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出(千円)(A)				20,233	20,738	21,281	
	受益者負担(使用料・負担金等)				8,070	6,221	6,385	
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)							
コスト面	一般財源				14,163	14,517	14,896	
	指標名				H21	H22	H23見込	H24計画
コスト指標	①			(A/B)				
		受益者		(B)				
コスト指標	②							
		算出根拠等						

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など	
	A(2)	B(1)			C(0)
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	評価対象外		
	B(1)	一部結びつく			
	C(0)	結びつかない			
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	評価対象外		
	B(1)	ある程度のニーズがある			
	C(0)	少ない、減少している			
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	評価対象外		
	B(1)	概ね市民全体におよぶ			
	C(0)	わずかな受益者に限定される			
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	評価対象外		
	B(1)	概ね達成している (75%以上)			
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)			
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	評価対象外		
	B(1)	概ね有効である			
	C(0)	見直しが必要である			
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	評価対象外		
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる			
	C(0)	対応していない			
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	評価対象外		
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる			
	C(0)	対応していない			
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	評価対象外		
	B(1)	概ね適正である			
	C(0)	改善が必要である			
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	評価対象外		
	B(2)	概ね適正である			
	C(0)	改善が必要である			
合計		0.0 / 0.0	100点換算		#### / 100

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了

総合評価(二次評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部査定額	市長査定額
歳出(千円)	21,281	13,264	△ 8,017	13,264	13,264
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他	21,281	13,264	△ 8,017	13,264	13,264
一般財源					

予算要求の概要	地方債にかかる元金の償還
要求額増減理由	地方債残高の減少に伴う減
事業実施の課題	

財務部査定の考え方	要求どおり
市長査定の考え方	財務部査定のとおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	31100	地方債利子	担当課	市民保健部 医療課	内線	2801
予算	会計	3	国民健康保険事業特別会計(直営診療施設勘定)	政策	2	「やさしさ」のあるまちをめざして
	款	3	公債費	分野	5	健康・保健・医療
	項	1	公債費	基本施策	2	いつでも安心して医療が受けられる環境を整備する
	目	2	利子	施策	1	地域医療体制の充実
実施計画事業						
市長の約束						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	対象施設診療圏域住民(利用患者)	受益者数	18,260 人
目的	どういった状態にしたいのか(意図)	・地域住民がいつでも安心して医療が受けられる環境の整備とへき地医療の確保を図る		
概要	事業の実施手法(手段)	診療施設整備に伴い起こした地方債の利子償還		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	①	指標名	単位	目標・実績			
				H21	H22	H23見込	H24計画
活動指標	算出根拠等	日	目標値				
			実績値				-
活動指標	算出根拠等	達成率(%)					-
成果面	②	指標名	単位	目標・実績			
				H21	H22	H23見込	H24計画
成果面	算出根拠等	日	目標値				
			実績値				-
成果面	算出根拠等	達成率(%)					-
成果指標	①	指標名	単位	目標・実績			
				H21	H22	H23見込	H24計画
成果指標	算出根拠等	日	目標値				
			実績値				-
成果指標	算出根拠等	達成率(%)					-
成果指標	②	指標名	単位	目標・実績			
				H21	H22	H23見込	H24計画
成果指標	算出根拠等	日	目標値				
			実績値				-
成果指標	算出根拠等	達成率(%)					-
コスト面	①	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)	H21	H22	H23	H24	
			決算額	決算額	予算額	実施計画額	
コスト面	算出根拠等	歳出(千円)(A)	1,469	1,140	804		
		受益者負担(使用料・負担金等)	440	342	241		
コスト面	算出根拠等	その他特定財源(国・県支出金・起債等)					
		一般財源	1,029	798	563		
コスト面	②	指標名	単位	目標・実績			
				H21	H22	H23見込	H24計画
コスト面	算出根拠等	(A/B)	受益者	(B)			
コスト面	算出根拠等	達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	評価対象外	
	B(1)	一部結びつく		
	C(0)	結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	評価対象外	
	B(1)	ある程度のニーズがある		
	C(0)	少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	評価対象外	
	B(1)	概ね市民全体におよぶ		
	C(0)	わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	評価対象外	
	B(1)	概ね達成している (75%以上)		
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	評価対象外	
	B(1)	概ね有効である		
	C(0)	見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	評価対象外	
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	評価対象外	
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	評価対象外	
	B(1)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	評価対象外	
	B(2)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
合計		0.0 / 0.0	100点換算	#### / 100

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了

総合評価(二次評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部査定額	市長査定額
歳出(千円)	804	500	△ 304	500	500
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他	804	500	△ 304	500	500
一般財源					

予算要求の概要	地方債にかかる利子の償還
要求額増減理由	地方債残高の減少に伴う減
事業実施の課題	

財務部査定の考え方	要求どおり
市長査定の考え方	財務部査定のとおり